

## 目次

リモートアクセスを許可するシステムコントローラーの設定	3
SmartWorks Remote Admin Client のインストールとリモートログイン	4
システムコントローラーからの設定の読取りと送信	5
SmartWorks リモート管理クライアント - プリンター設定	7
SmartWorks リモート管理クライアント - プリンター設定	8
SmartWorks リモート管理クライアント - スキャナー設定	9
SmartWorks リモート管理クライアント - ファイル設定	10
SmartWorks リモート管理クライアント - システム管理	11
SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウント	12
SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウント: ローカルユーザーの編集	14

SmartWorks	リモート管理クライアント - ユーザーアカウント: アクティブディレクトリ ユーザーの編集	15
SmartWorks	リモート管理クライアント - ユーザーアカウントの権限	16
SmartWorks	リモート管理クライアント - E メール設定	17
SmartWorks	リモート管理クライアント - E メール設定 (ユーザーアカウント = オフ)	18
SmartWorks	リモート管理クライアント - E メール設定 (ユーザーアカウント = オン)	19
SmartWorks	リモート管理クライアント - アカウンティング	20

## リモートアクセスを許可するシステムコントローラーの設定

SmartWorks リモート管理クライアント	管理者システム管理者が PC からシステムコントローラーにリモートログインする機能を提供し、が同じネットワーク上のリモート PC からシステムコントローラーにログインする機能を提供し、セットアップを容易にします。複数のシステムコントローラー*を同じ設定にすることができます。(標準的な PC とタッチスクリーンには対応していません) システムコントローラー上で以下の設定をします。: (1) ユーザーアカウントを有効にし、管理者ユーザー名とパスワードを設定します。 (2) リモート管理を有効にし、ポート番号を設定します。
システムコントローラーの設定	設定 - リモートマネージャー (管理者のみ)
リモート管理	ローカルネットワーク上の複数のシステムコントローラーのシステム管理設定を行うために、リモート管理を有効にします。
ポート番号	SmartWorks リモート管理クライアントがシステムコントローラーにアクセスする際に使用するポートを設定します。



# SmartWorks Remote Admin Client のインストールとリモートログイン

## SmartWorks リモート管理クライアント

管理者が同じネットワーク上のリモート PC からシステムコントローラーにログインできる機能を提供し、セットアップを容易にします。複数のシステムコントローラー\*を同じ設定にすることができます。(標準的な PC とタッチスクリーンには対応していません)  
システムコントローラー上で以下の設定をします。:

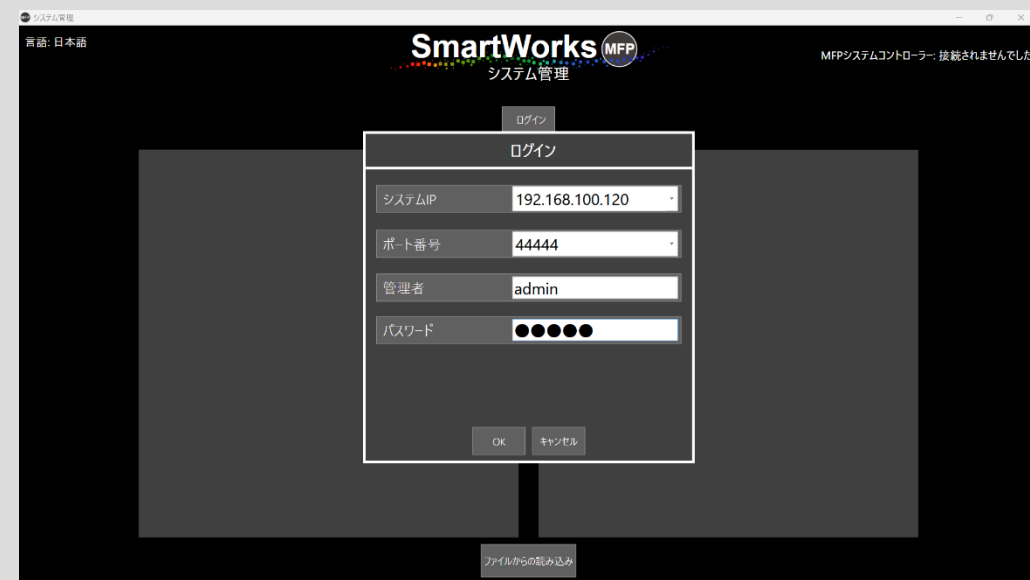
- (1) ユーザーアカウントを有効にし、管理者ユーザー名とパスワードを設定します。
- (2) リモート管理を有効にし、ポート番号を設定します。

## ローカルネットワーク上の PC 設定

管理用の Windows PC に SmartWorks Remote Admin Client をインストールし、実行します。

システムコントローラーの IP アドレス、ポート番号、管理者のユーザー名とパスワードを入力して、システムコントローラーにリモートでログインします。

接続すると、SmartWorks Remote Admin Client ウィンドウのの右上に IP アドレスが表示されます。



# システムコントローラーからの設定の読取りと送信

MFP システムコントローラーからの読み込み:	システムコントローラーに設定されている値をコピーして表示します。 システムコントローラーからユーザーパスワードを読 取ることはできません。
MFP システムコントローラーへに送信:	リモート管理クライアントの現在の値をシステムコントローラーに送信します。 システムコントローラーは、すべての変更を含めるために再起動が必要です。 ローカルユーザーパスワードはシステムコントローラーに送信でき、現在のパスワードを上書きします。



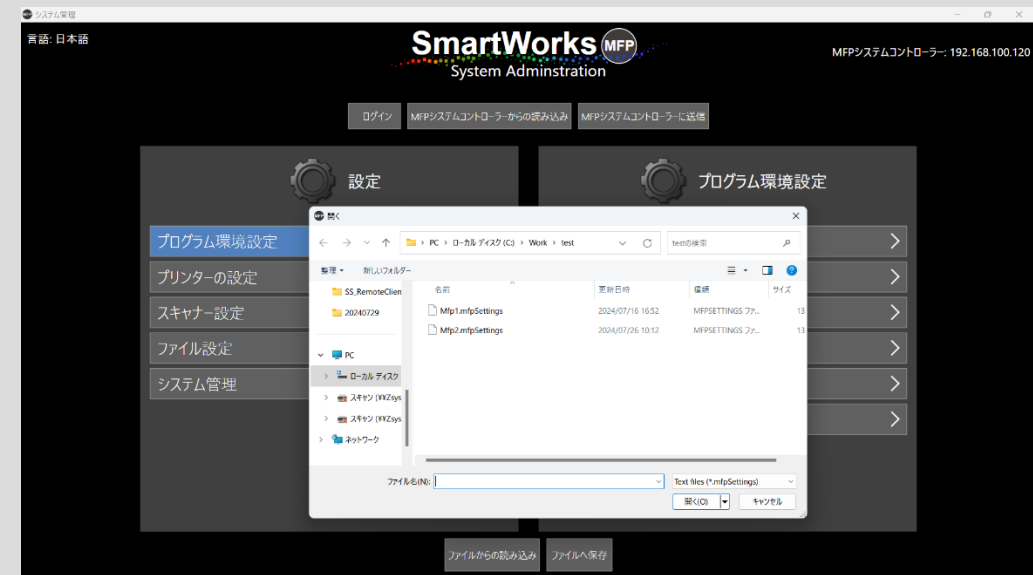
# SmartWorks リモート管理クライアント – プログラム環境設定

ファイルからの読み込み:

保存したファイルに設定されている値を表示します。

ファイルへ保存:

リモート管理クライアントの現在の値をファイルに保存します。



# SmartWorks リモート管理クライアント – プリンター設定

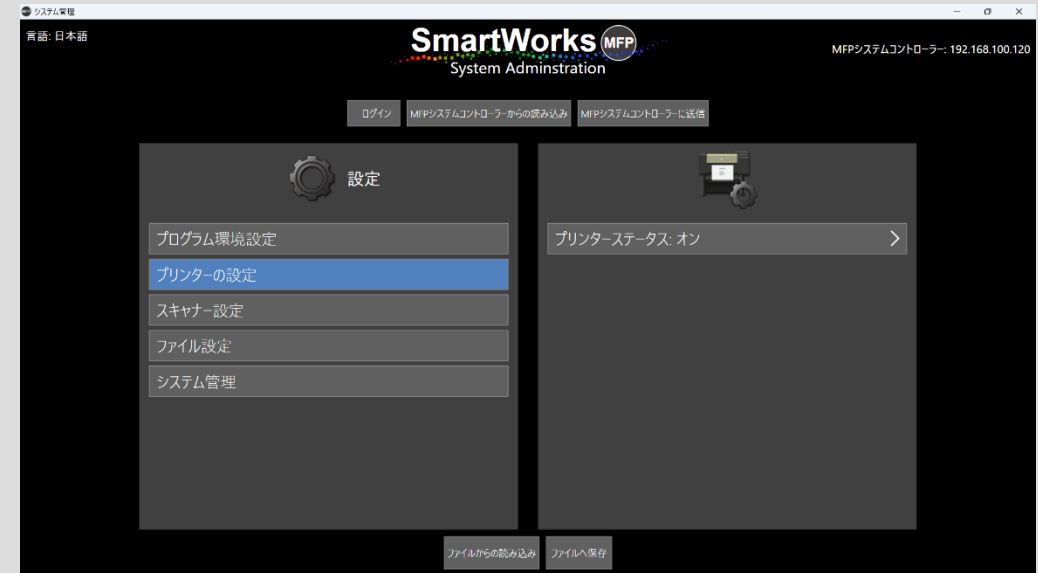
プリファレンス	プレビュー : スキャンした画像を表示し、調整できます。 バッチモード : 新しい原稿がセットされるたびにスキャナーが自動的に読み込みます。
単位	ミリ/インチ
ソフトウェアリセット時間	システムコントローラーに対して操作が無い時間。 時間が経過すると、ソフトウェアはプログラム環境設定値にリセットされ、現在のユーザーをログアウトし、システムコントローラーをスリープ状態にします。(エネルギースターの最大時間は 15 分)スリープを解除するには、画面または電源ボタンを 1 回タッチします。
各機能の表示	ホーム画面で利用できる各機能を表示します。
テーマ	ダーク/ライト
用紙設定の表示	使用する標準用紙サイズと 6 つのユーザー用紙サイズを定義します。 “オート”が使用する公差を「最も近い標準用紙サイズ」に設定します。 印刷前にオートクロップがスキャンから削除する境界線のサイズを定義します。



# SmartWorks リモート管理クライアント – プリンター設定

プリンターステータス

プリンターのポーリング: ソフトウェアがプリンターと通信する頻度を設定します。  
SmartWorks MFP は定期的にプリンターと通信し、ステータス情報を取得します。ネットワークがこのような定期的な活動を妨げる場合は、プリンターモニターをオフに設定します。オフの場合、ソフトウェアは、プログラム開始時、グリーンボタンのタップ時、またはアップデートボタンのタップ時のみプリンターと通信します。





# SmartWorks リモート管理クライアント – スキャナー設定

DPI	ドラフト、標準、高画質設定のスキャナー解像度(DPI)を設定します。
スキャンスピード	スキャン速度の調整: 100% = 最高速度、50% = 1/2 速度、33% = 1/3 速度、25% = 1/4 速度 デリケートな原稿をスキャンする場合、または、高画質モードで Stop/Start スキャンを防止する場合は、低速を使用して下さい。
スキャン後の原稿排出処理	スキャン処理完了後の原稿排出動作を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 原稿の排出-原稿は、スキャナーのリアローラーから排出され、ユーザーが自由に取り出せるようになります。</li> <li>- 原稿を保持:原稿は、リアローラーに保持されます。取り外すには、スキャナーの[原稿送り]ボタンを押します。次のスキャンを開始する前に、原稿を排出する必要があります。</li> </ul>
自動原稿幅認識	原稿自動サイズ認識を選択: <ul style="list-style-type: none"> <li>- 標準モード:スキャナー内部の自動原稿幅アルゴリズムを使用し、読み込まれた原稿のリードエッジ幅を表示します。</li> <li>- ベストモード:スキャン完了後にソフトウェアアルゴリズムを使用する為、メディア幅は表示されません。最大スキャン幅をスキャンし、その後、原稿幅で画像を切り取ります。</li> </ul>
自動傾き補正	スキャンした画像を自動的に傾き補正します。原稿の傾きがひどい場合、スキャン画像が切り取られることがあります。このような場合は、原稿の傾きを最小にして再スキャンして下さい。



Continued

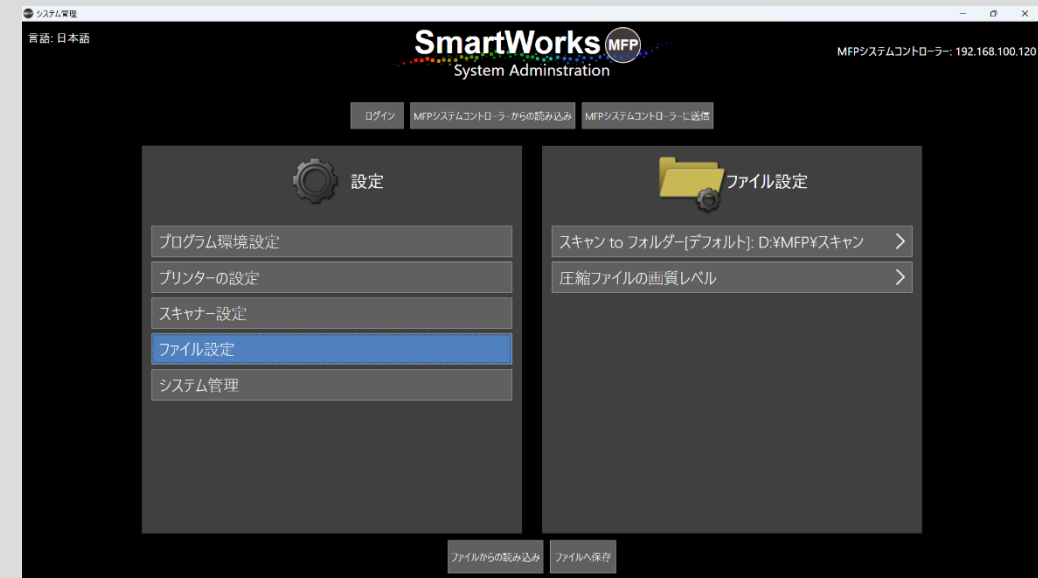
# SmartWorks リモート管理クライアント – ファイル設定

スキャン to フォルダー (デフォルト) 管理者のみ	スキャンフォルダーのデフォルト工場出荷時のデフォルトスキャンフォルダーは、D:\MFP\¥スキャンですが、サブフォルダーやネットワーク/FTP サーバーに設定する事も可能です。
ファイル圧縮	JPG および PDF カラー/グレースケールファイルのファイル圧縮は、各品質モードで異なるレベルに設定できます。パーセンテージが低いほどファイルサイズは小さくなりますが、画質は低下します。

## 注意: スキャンフォルダーの優先順位

使用されるスキャンフォルダーは、以下の優先順位リストによって定義され、優先順位が高いものから順に使用されます。

1. [ユーザーアカウント]で管理者が有効にした場合のユーザーのスキャンフォルダー
2. デフォルトのスキャンフォルダー
3. ローカルピクチャフォルダー  
(デフォルトスキャンフォルダーにアクセスできない場合)



## SmartWorks リモート管理クライアント – システム管理

ユーザーアカウント	ローカルユーザーアカウントまたはアクティブディレクトリユーザーアカウントのいずれかを有効にします。
Eメール設定	Eメールの設定を行います。
アカウントिंग	有効にすると、プリンターモデルに応じて、最大7フィールドのフリーテキストの入力を求められます。使用するフィールドを選択します。
プリンターヘルプ	オンラインのプリンターWeb ヘルプまたはプリンターWeb UI へのアクセスを有効にします。



## SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウント

ユーザーアカウント	オン/オフ
ユーザーアカウント	ローカルユーザー： SmartWorks MFP 内部のユーザーアカウントのみで使用されます。 アクティブディレクトリ： アクティブディレクトリサーバーからのユーザーアカウントは、関連するホームフォルダーとEメールアドレスと共に使用されます。
ローカルユーザー	
ユーザーの編集 ユーザーの追加	ユーザー名、パスワード、レベル(パワーユーザーまたはユーザー)を設定します。 ユーザーのスキャンフォルダーのオン/オフ、ユーザーのスキャンフォルダーのパスを設定します。
ユーザーの削除	削除するユーザーを選択します。
パスワードに関する注意事項：	<b>注意：</b> ユーザーのパスワードはシステムコントローラーから読み取る事はできません。ローカルユーザーのパスワードはシステムコントローラーに送信でき、既存のパスワードを上書きします。



# SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウント

ユーザーアカウント	オン/オフ
ユーザーアカウント	<p>ローカルユーザー： SmartWorks MFP 内部のユーザーアカウントのみで使用されます。</p> <p>アクティブディレクトリ： アクティブディレクトリサーバーで管理されるユーザーアカウントです。 ユーザーのホームフォルダーと E メールアドレスを SmartWorks MFP で利用します。</p>
アクティブディレクトリユーザー	
ユーザーの編集	アクティブディレクトリユーザーを編集できるのは、システムコントローラーにログインした後のみです。ユーザーレベル、またはスキャンフォルダーを設定します。(アクティブディレクトリサーバーへの変更は行われません)
ユーザーの削除	削除するユーザーを選択します。(アクティブディレクトリサーバーへの変更は行われません)
権限	ユーザーグループ毎に利用可能な機能を定義します。ユーザーアカウントの「権限」を参照して下さい。



# SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウント: ローカルユーザーの編集

ユーザー パスワード	SmartWorks MFP 内部のユーザーアカウント情報のみとなります。 ユーザー名に以下の文字を含めることはできません。 ><-`~@ ?!"\$%&.,?/*:/¥¥
ユーザーレベル	パワーユーザーまたはユーザー(ユーザー特権を参照)
ユーザーのスキャンフォルダー	<p>オンの場合:</p> <p>このスキャンフォルダーは、そのユーザーのプリセット内のスキャンフォルダーより優先して使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ローカル - ブラウズしてローカルフォルダーを選択します。</li> <li>- ネットワーク             <ul style="list-style-type: none"> <li>o タイプ = サーバー、FTP または FTP (SSL)</li> <li>o サーバーパス (例: ¥ ¥ Server ¥ folder ¥)</li> <li>o サブフォルダー</li> <li>o ユーザー (ネットワークユーザー名)</li> <li>o パスワード (ネットワークパスワード)</li> <li>o ドメイン</li> </ul> </li> </ul> <p>ネットワーク接続をテストし、認証情報が正しいことを確認します。</p>
注意:	FTP サーバーによっては、ルートディレクトリにファイルを保存できず、サブフォルダーにしか保存できない場合があります。

ユーザーの編集

ユーザー

パスワード

ユーザー

パワーユーザー

ユーザースキャンフォルダーを設定:  オン

ローカル     ネットワーク

種類

サーバー

サブフォルダー

ユーザー

パスワード

ドメイン

# SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウント: アクティブディレクトリ ユーザーの編集

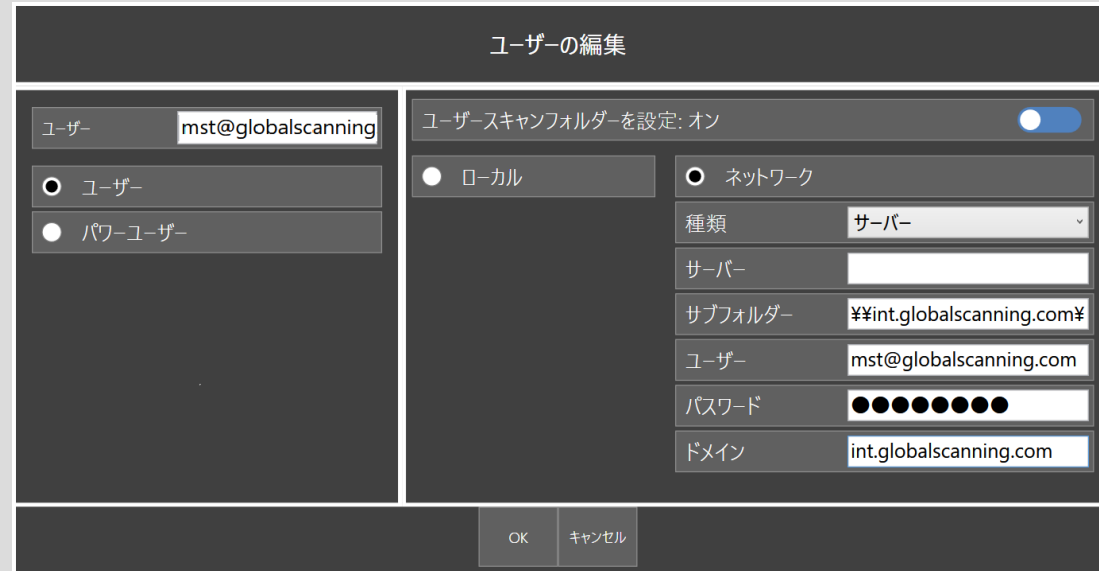
**ユーザーレベル**  
 パワーユーザーまたは、ユーザー:  
 デフォルトでは、アクティブディレクトリユーザーのユーザーレベルは、ユーザーに設定されます。(ユーザー権限を参照)

**ユーザーのスキャンフォルダー**  
 デフォルトでは、このスキャンフォルダーは、アクティブディレクトリサーバーによって設定されたユーザーのホームフォルダーに設定されますが、必要に応じて変更することができます。

- ローカル - ブラウズしてローカルフォルダーを選択します。
- ネットワーク
  - o タイプ = サーバー、FTP または FTP (SSL)
  - o サーバーパス (例: ¥ ¥ Server ¥ folder ¥)
  - o サブフォルダー
  - o ユーザー (ネットワークユーザー名)
  - o パスワード (ネットワークパスワード)
  - o ドメイン

ネットワーク接続をテストし、認証情報が正しいことを確認します。

**注意:**  
 FTP サーバーによっては、ルートディレクトリにファイルを保存できず、サブフォルダーにしか保存できない場合があります。



## SmartWorks リモート管理クライアント - ユーザーアカウントの権限

	管理者は、パワーユーザーとユーザーの各機能のアクセス権限を定義します。	Power User	User
プリセットの保存を許可する	各機能からの終了時、またはプレビューでプリセットの保存を使用して、新しい設定を新しいプリセットとして保存する機能	オン/オフ	オン/オフ
フォルダーの選択を許可する	スキャンフォルダーの保存先を変更する機能	オン/オフ	オン/オフ
ネットワークフォルダー選択を許可する	ネットワークスキャンフォルダーの保存先を変更する機能	オン/オフ	オン/オフ
ファイル名の変更を許可する	スキャンファイル名の編集機能	オン/オフ	オン/オフ
USB メモリーの自動検出を許可する	USB メモリーを使用する機能	オン/オフ	オン/オフ
E メールへのスキャンを許可する	E メールへのスキャン機能	オン/オフ	オン/オフ
DropBox クラウドへのアクセスを許可する	DropBox ログインの許可	オン/オフ	オン/オフ
Box クラウドへのアクセスを許可する	Box へのログインの許可	オン/オフ	オン/オフ
クラウドへのスキャンを許可する	クラウドへのスキャン機能	オン/オフ	オン/オフ
クラウドからのプリントを許可する	クラウドからのプリント機能	オン/オフ	オン/オフ
プログラム環境設定へのアクセスを許可する	オフに設定すると、これらの設定メニューにアクセスできなくなります。 この設定は、パワーユーザーのみでユーザーの設定は出来ません。	オン/オフ	
プリンター設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	
スキャナー設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	
ファイル設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	
プリセット設定へのアクセスを許可する		オン/オフ	



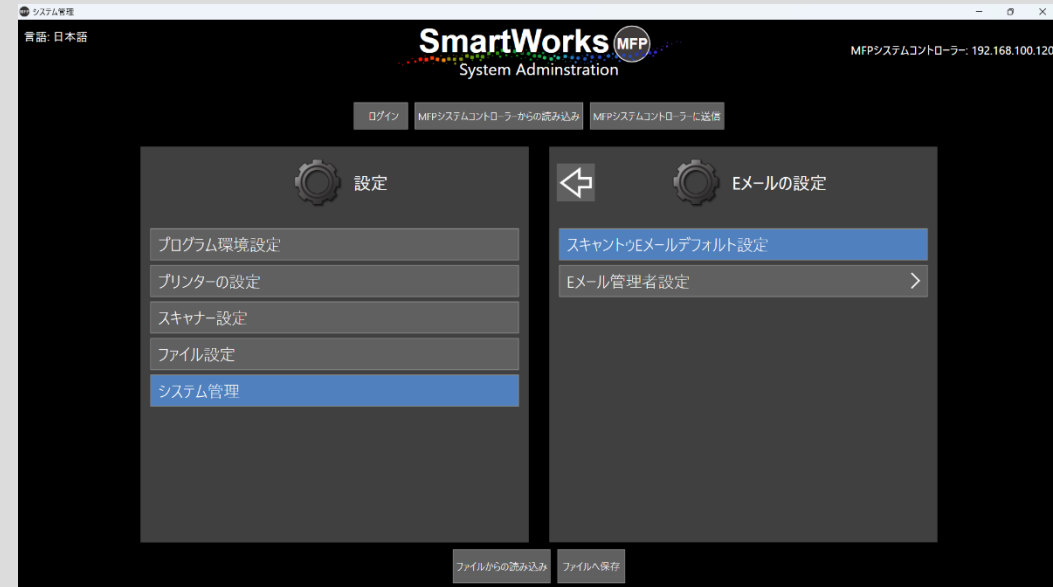
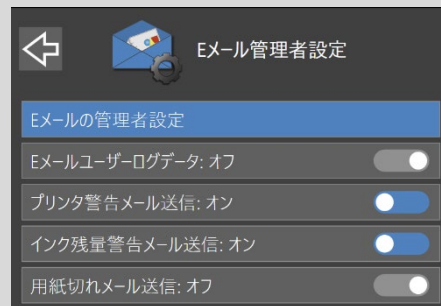
# SmartWorks リモート管理クライアント – Eメール設定

## スキャン to Eメールのデフォルト設定

スキャン to Eメールのデフォルト設定を行います。  
設定は、ユーザーアカウントがオン/オフによって異なります。(次のステージを参照)

## Eメール管理者設定

管理者のEメールアドレスを設定します。  
システムコントローラーが管理者にEメールを送信するかどうかを選択します：  
定期的にシステムのログデータをEメールで送信します。  
プリンターに警告メッセージが表示されたときにEメールを送信します。  
プリンターにインク残量警告が表示されたときにEメールを送信します。  
プリンターに用紙切れ警告が発生したときにEメールを送信します。



## SmartWorks リモート管理クライアント - Eメール設定 (ユーザーアカウント = オフ)

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)	使用するメールサーバーの SMTP サーバー、ポート番号とドメイン名を入力します。(例: ネットワークの管理者から新しい E メールアドレスを取得し、SmartWorks MFP が SMTP サーバーにアクセスすることを許可してもらうように依頼します。) SSL を使用: 有効であると、SSL 証明が E メールを保護し、認証します。
メッセージ設定	デフォルトの Eメールの件名とメッセージ本文の内容を入力します。 最大添付サイズ: Eメールに添付したデータが最大サイズを超えた場合、設定されたサイズ以下になるようにソフトウェアが自動で縮小します。(最大ファイルサイズのデフォルト=10MB) ディスクに保存されるファイルのサイズは変更されません。 注: MPDF、DWF ファイル形式には対応していません。
SMTP デフォルトログイン情報	差出人の Eメールアドレスとパスワードを入力します。 「パスワードを保存」にチェックが入っていない場合、スキャン to Eメールをするたびにパスワードの入力を求められます。
注記:	<ul style="list-style-type: none"> <li>SmartWorks MFP はリモートメールサービスを使用します。メール設定が正しくない場合、または SmartWorks MFP からのメール送信をメールサーバーでブロックされた場合はエラーメッセージが表示されます。</li> <li>SmartWorks MFP がメールサーバーにアクセスできるように Eメールサービスで設定の変更が必要になる場合があります。例: 「2段階認証」を有効にし、SmartWorks MFP で使用する「アプリパスワード」を作成します。</li> </ul>

### Eメールの設定

<b>簡易メール転送プロトコル(SMTP)</b>	
SMTPサーバー	<input type="text" value="smtp.gmail.com"/>
ポート番号	<input type="text" value="587"/>
ドメイン	<input type="text"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> SSLを使用
<b>メッセージ設定</b>	
件名	<input type="text" value="Scan (SmartWorks MFP6)"/>
本文	<input type="text" value="Scan (SmartWorks MFP6)"/>
最大添付サイズ (MB)	<input type="text" value="10"/>
	添付ファイルの自動サイズ縮小 <input checked="" type="checkbox"/>
<b>SMTPデフォルトログイン情報</b>	
ユーザー用の単一メールアドレスを使用	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="text" value="scanner@gmail.com"/>
	ユーザー用 <input checked="" type="checkbox"/> パワーユーザー用 <input checked="" type="checkbox"/>
パスワード	<input type="password" value="●●●●●●●●"/> <span>Edit</span>
	パスワードを保存 <input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

## SmartWorks リモート管理クライアント - Eメール設定 (ユーザーアカウント = オン)

Simple Mail Transfer Protocol (SMTP)	<p>使用するメールサーバーの SMTP サーバー、ポート番号とドメイン名を入力します。(例: ネットワークの管理者から新しい E メールアドレスを取得し、SmartWorks MFP が SMTP サーバーにアクセスすることを許可してもらうように依頼します。)</p> <p>SSL を使用: 有効であると、SSL 証明が E メールを保護し、認証します。</p>
メッセージ設定	<p>デフォルトの Eメールの件名とメッセージ本文の内容を入力します。</p> <p>最大添付サイズ: Eメールに添付したデータが最大サイズを超えた場合、設定されたサイズ以下になるようにソフトウェアが自動で縮小します。(最大ファイルサイズのデフォルト=10MB) ディスクに保存されるファイルのサイズは変更されません。 注:MPDF、DWF ファイル形式には対応していません。</p>
SMTP デフォルトログイン情報	<p>差出人の E メールアドレスとパスワードを入力します。</p> <p>「パスワードを保存」にチェックが入っていない場合、スキャン to Eメールをするたびにパスワードの入力を求められます。</p>
<p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SmartWorks MFP はリモートメールサービスを使用します。メール設定が正しくない場合、または SmartWorks MFP からのメール送信をメールサーバーでブロックされた場合はエラーメッセージが表示されます。</li> <li>SmartWorks MFP がメールサーバーにアクセスできるように Eメールサービスで設定の変更が必要になる場合があります。例:「2段階認証」を有効にし、SmartWorks MFP で使用する「アプリパスワード」を作成します。</li> </ul>	

Eメールの設定

**簡易メール転送プロトコル(SMTP)**

SMTPサーバー

ポート番号

ドメイン

SSLを使用

**メッセージ設定**

件名

本文

最大添付サイズ (MB)

添付ファイルの自動サイズ縮小

**SMTPデフォルトログイン情報**

ユーザー用の単一メールアドレスを使用

ユーザー用  パワーユーザー用

パスワード  Edit

パスワードを保存

# SmartWorks リモート管理クライアント – アカウンティング

アカウントが有効な場合、最大 7 つまでアカウント用の属性項目を有効にできます。これらの項目の内容は、ジョブログに保存されます。また、プリンターにも送信されますが、保存される項目の数はプリンターモデルによって異なります。プリンターが 2 つの項目しか保存できない場合、上位 2 つの項目 (アカウント ID と部署) のみが送信されます。

有効にすると、スキャン・コピー時の緑色のボタンを押した後にアカウント属性を入力するパネルが表示されます。前回入力した内容が表示され変更も可能です。リセットボタンを押すと記入した内容が消去されます。各属性項目は未入力でも処理可能です。

## アカウンティング

### アカウンティング

アカウントID	<input type="text" value="12345"/>
部署名	<input type="text" value="Design"/>

